

学習の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準

■大学院看護学研究科 博士前期課程

(成績評価基準)

- ・ 科目試験は、秀、優、良、可、不可とし、秀、優、良、可を合格とする。
- ・ 修士論文は、秀、優、良、可を合格とし、不可を不合格とする。
- ・ 最終試験は、合格、不合格とする。

(学位論文の審査基準) 本学学位規程により定める審査委員が学位論文・最終試験の審査基準により総合的に判定して合・否、あるいは、秀・優・良・可をつける。

①修士論文

- ・ 問題意識が明確でテーマ設定は適切か
- ・ 課題に見合った方法論が選択されているか
- ・ 与えられた情報や仮定から、適切に結論が導かれているか
- ・ 明解性・一貫性・論理性のある論旨が展開されているか
- ・ 文章力・読解力・自己表現力、探究心、批判的思考力等はあるか
- ・ 自律的・計画的・持続的に十分時間をかけて学位論文を作成したか
- ・ 自身の論文について、テーマ設定 データ収集 推論 結論の導出の過程を説明し、弁明できるか
- ・ 看護学関連の雑誌に投稿した場合、掲載される可能性はあるか
- ・ 看護学への貢献度があるか

②課題研究

- ・ 問題意識が明確でテーマ設定が適切か
- ・ 課題に見合った方法論が選択されているか
- ・ 与えられた情報や仮定から、結論を導き出す過程に問題点は見られないか

- ・ 明解性・一貫性・論理性のある論旨が展開されているか
- ・ 文章力・読解力・自己表現力があるか
- ・ 看護学への貢献度があるか

(最終試験の審査基準)

①修士課程（修士論文コース）

- ・ 看護研究者として必要とされる態度・資質（例えば、人間性・良識、共感性、協調性、社会性、謙虚さ、誠実さ、リーダーシップ等）を有しているか
- ・ 看護研究者としての幅広い知識教養（例えば、社会問題、自然環境、人間心理、歴史への関心）を有しているか
- ・ 今後研究内容を積極的にプレゼンテーションできるか

②修士課程（上級実践コース）

- ・ 上級実践者としての専門的能力に優れているか
- ・ 課題研究から今後の実践に結びつけて説明できるか
- ・ 課題研究から今後の実践に結びつけて説明できるか
- ・ 専門職者としての態度・資質（例えば、人間性・良識、共感性、協調性、社会性、謙虚さ、誠実さ、リーダーシップ、探究心、批判的思考力、自分の弱点・強みが理解できるか、等）を有しているか
- ・ 上級実践者としての幅広い知識・教養（例えば、社会問題、自然環境、人間心理、歴史への関心）等を有しているか

(博士前期課程修了の要件)

標準修業年限年以上在学し、授業科目について 32 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文審査および最終試験に合格するものとする。合格した者には、修士（看護学）の学位を授与する。修士課程の目的に応じ適当と認められるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。

コース別履修方法

(1) 看護学専攻修士論文コース

<看護心理学> <看護社会学> <看護情報学> <看護統計学> <基礎看護学>
 <看護技術学> <看護教育学> <看護管理学> <急性期看護学>
 <慢性期看護学> <老年看護学> <がん看護学・緩和ケア> <精神看護学>
 <在宅看護学> <公衆衛生看護学> <国際看護学>

修了必要単位数 (32 単位)

| | |
|--------------------------|---|
| <p>必修科目 (28 単位)</p> | <p>○基盤分野「看護学研究法Ⅰ」2 単位 「看護学研究法Ⅱ」2 単位 「看護理論」2 単位 「応用統計学」2 単位、計 8 単位</p> <p>○専攻する分野の「特論Ⅰ」2 単位 「特論Ⅱ」2 単位 「演習Ⅰ」2 単位 「演習Ⅱ」2 単位 計 8 単位</p> <p>○専門分野から専攻する分野以外の 1 分野を選択 「特論Ⅱ」2 単位、「特論Ⅲ」2 単位のうちの当該分野で 指定する 2 単位 計 4 単位</p> <p>○「特別看護研究」8 単位</p> |
| <p>選択科目 (4 単位以上)</p> | <p>○必修科目以外の授業科目の中から 4 単位以上を選択</p> |
| <p>留意事項</p> | <p>○ウィメンズヘルス・助産学専攻の専門科目を 10 単位を超えない範囲で履修することができる。</p> <p>○「特別講義」(1 科目 1 単位) は、2 科目まで履修できる。</p> <p>○専攻する分野以外の「演習」および演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを選択することは可能であるが下記の条件によるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則として選択する分野の特論Ⅰ・Ⅱを履修していること。 ・選択する科目の教員および専攻する分野の指導教員が了承すること。 ・専攻する分野の学習の妨げにならないこと。 <p>○履修できない科目については、「修士課程授業科目、単位数および学年配置」を参照のこと。</p> |

(2) 看護学専攻 修士論文コース

<小児看護学>

修了必要単位数 (32 単位)

| | |
|--------------------------|--|
| <p>必修科目 (28 単位)</p> | <p>○基盤分野「看護学研究法Ⅰ」2 単位 「看護学研究法Ⅱ」2 単位 「看護理論」2 単位 「応用統計学」2 単位、計 8 単位</p> <p>○専攻する分野の「特論Ⅰ」2 単位 「特論Ⅲ」2 単位 「演習Ⅰ」2 単位 「演習Ⅱ」2 単位 計 8 単位</p> <p>○専門分野から専攻する分野以外の 1 分野を選択 「特論Ⅰ」2 単位 「特論Ⅱ」2 単位、「特論Ⅲ」2 単位のうちの当該分野で 指定する 2 単位 計 4 単位</p> <p>○「特別看護研究」8 単位</p> |
| <p>選択科目 (4 単位以上)</p> | <p>○必修科目以外の授業科目の中から 4 単位以上を選択</p> |
| <p>留意事項</p> | <p>○ウィメンズヘルス・助産学専攻の専門科目を 10 単位を超えない範囲で履修する事ができる。</p> <p>○「特別講義」(1 科目 1 単位) は、2 科目まで履修できる。</p> <p>○専攻する分野以外の「演習」および演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを選択することは可能であるが下記の条件によるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none">・原則として選択する分野の特論Ⅰ・Ⅱを履修していること。・選択する科目の教員および専攻する分野の指導教員が了承すること。・専攻する分野の学習の妨げにならないこと。 <p>○履修できない科目については、「修士課程授業科目、単位数および学年配置」を参照のこと。</p> |

(1) 看護学専攻修士論文コース

<遺伝看護学>

修了必要単位数 (34 単位)

| | |
|--------------------------|---|
| <p>必修科目 (30 単位)</p> | <p>○基盤分野「看護学研究法Ⅰ」2 単位 「看護学研究法Ⅱ」2 単位 「看護理論」2 単位 「応用統計学」2 単位、 「臨床遺伝学」2 単位 計 10 単位</p> <p>○「遺伝看護学特論Ⅰ」2 単位 「遺伝看護学特論Ⅱ」2 単位 「遺伝看護学演習Ⅰ」2 単位 「遺伝看護学演習Ⅱ」2 単位 計 8 単位</p> <p>○専門分野から専攻する分野以外の 1 分野を選択 「特論Ⅰ」2 単位 「特論Ⅱ」2 単位、「特論Ⅲ」2 単位のうちの当該分野で 指定する 2 単位 計 4 単位</p> <p>○「特別看護研究」8 単位</p> |
| <p>選択科目 (4 単位以上)</p> | <p>○必修科目以外の授業科目の中から 4 単位以上を選択</p> |
| <p>留意事項</p> | <p>○ウィメンズヘルス・助産学専攻の専門科目を 10 単位を超えない範囲で履修することができる。</p> <p>○「特別講義」(1 科目 1 単位) は、2 科目まで履修できる。</p> <p>○専攻する分野以外の「演習」および演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを選択することは可能であるが下記の条件によるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none">・原則として選択する分野の特論Ⅰ・Ⅱを履修していること。・選択する科目の教員および専攻する分野の指導教員が了承すること。・専攻する分野の学習の妨げにならないこと。 <p>○履修できない科目については、「修士課程授業科目、単位数および学年配置」を参照のこと。</p> |

(4) 看護学専攻上級実践コース

<看護管理学> <急性期看護学> <老年看護学> <国際看護学>

⇒ 専門看護師教育規程認定コース(26 単位)

修了必要単位数 (32 単位)

| | |
|-------------------|---|
| 必修科目 (20 単位) | ○専攻する分野の「特論Ⅰ」2 単位 「特論Ⅱ」2 単位 「特論Ⅲ」2 単位 「演習Ⅰ」2 単位 「演習Ⅱ」2 単位 「演習Ⅲ」2 単位、計 12 単位 ○「実習」6 単位 「課題研究」2 単位 |
| 選択科目 (12 単位以上) | ○必修科目以外の授業科目の中から 12 単位以上を選択し、そのうちの 8 単位は以下の科目から選択しなければならない。 「看護学研究法Ⅰ」「看護理論」「看護倫理」「看護教育学特論Ⅰ」 「看護管理学特論Ⅰ」 |
| 留意事項 | ○ウィメンズヘルス・助産学専攻の専門科目を 10 単位を超えない範囲で履修する事ができる。 ○「特別講義」(1 科目 1 単位) は、2 科目まで履修できる。 ○履修できない科目については、「修士課程授業科目、単位数および学年配置」を参照のこと。 |

(5) 看護学専攻上級実践コース

<看護教育学>

修了必要単位数 (41 単位)

| | |
|--------------------------|--|
| <p>必修科目 (32 単位)</p> | <p>○基盤分野の「看護理論」2 単位 「看護学研究法Ⅰ」2 単位 「看護学研究法Ⅱ」2 単位 計 6 単位</p> <p>○「看護教育学特論Ⅰ」2 単位 「看護教育学特論Ⅱ」2 単位 「看護教育学特論Ⅲ」2 単位 「看護教育学演習Ⅰ」2 単位 「看護教育学演習Ⅱ」2 単位 「看護教育学演習Ⅲ」2 単位、計 12 単位</p> <p>○「看護管理学特論Ⅰ」2 単位 「看護管理学特論Ⅱ」2 単位、計 4 単位</p> <p>○「看護教育学特論Ⅰ」「看護管理学特論Ⅰ」以外の専門分野の特論Ⅰ 計 2 単位</p> <p>○「実習」6 単位 「課題研究」2 単位</p> |
| <p>選択科目 (9 単位以上)</p> | <p>○必修科目以外の授業科目の中から 9 単位以上を選択し、そのうちの 9 単位を以下の科目から選択しなければならない。 「応用形態機能学」「フィジカルアセスメント」「診断・治療学」 「臨床遺伝学」「応用統計学」「病態生理学」「臨床薬理」「看護倫理」 「特別講義 (チームビルディング)」</p> |
| <p>留意事項</p> | <p>○ウィメンズヘルス・助産学専攻の専門科目を 10 単位を超えない範囲で履修する事ができる。</p> <p>○「特別講義」(科目 1 単位) は、2 科目まで履修できる。</p> <p>○履修できない科目については、「修士課程授業科目、単位数および学年配置」を参照のこと。</p> |

(6) 看護学専攻上級実践コース

<遺伝看護学>

専門看護師教育課程認定コース (38 単位)

修了必要単位数 (44 単位)

| | |
|--------------------------|--|
| <p>必修科目 (36 単位)</p> | <p>○基盤分野の「臨床遺伝学」2 単位 「病態生理学」2 単位 「フィジカルアセスメント」2 単位 「臨床薬理」2 単位</p> <p>○「遺伝看護学特論Ⅰ」2 単位 「遺伝看護学特論Ⅱ」2 単位 「遺伝看護学特論Ⅲ」2 単位 「遺伝看護学特論Ⅳ」2 単位 「遺伝看護学演習Ⅰ」2 単位 「遺伝看護学演習Ⅱ」2 単位 「遺伝看護学演習Ⅲ」2 単位 「遺伝看護学演習Ⅳ」2 単位 計 16 単位</p> <p>○「遺伝看護学実習Ⅰ」6 単位 「遺伝看護学実習Ⅱ」2 単位 「遺伝看護学実習Ⅲ」2 単位 計 10 単位</p> <p>○「課題研究」2 単位</p> |
| <p>選択科目 (8 単位以上)</p> | <p>○必修科目以外の授業科目の中から 8 単位以上を選択し、そのうちの 8 単位は以下の科目の中から選択しなければならない。 「看護学研究法Ⅰ」「看護理論」「看護倫理」「看護教育学特論Ⅰ」 「看護管理学特論Ⅰ」</p> |
| <p>留意事項</p> | <p>○ウィメンズヘルス・助産学専攻の専門科目を 10 単位を超えない範囲で履修する事ができる。</p> <p>○「特別講義」(1 科目 1 単位) は、2 科目まで履修できる。</p> <p>○履修できない科目については、「修士課程授業科目、単位数および学年配置」を参照のこと。</p> |

(7) 看護学専攻上級実践コース

<ニューロサイエンス看護学>

修了必要単位数 (44 単位)

| | |
|--------------------------|---|
| <p>必修科目 (36 単位)</p> | <p>○基盤分野の「病態生理学」2 単位 「フィジカルアセスメント」2 単位 「臨床薬理」2 単位 「診断治療学」</p> <p>○「ニューロサイエンス看護学特論Ⅰ」2 単位 「ニューロサイエンス看護学特論Ⅱ」2 単位 「ニューロサイエンス看護学特論Ⅲ」2 単位 「ニューロサイエンス看護学特論Ⅳ」2 単位 「ニューロサイエンス看護学特論Ⅴ」2 単位 「ニューロサイエンス看護学演習Ⅰ」2 単位 「ニューロサイエンス看護学演習Ⅱ」2 単位 「ニューロサイエンス看護学演習Ⅲ」2 単位 「ニューロサイエンス看護学演習Ⅴ」2 単位 計 20 単位</p> <p>○「実習Ⅰ」6 単位</p> <p>○「課題研究」2 単位</p> |
| <p>選択科目 (8 単位以上)</p> | <p>○必修科目以外の授業科目の中から 8 単位以上を選択し、そのうちの 8 単位は以下の科目の中から選択しなければならない。</p> <p>「看護学研究法Ⅰ」「看護理論」「看護倫理」「看護教育学特論Ⅰ」 「看護管理学特論Ⅰ」</p> |
| <p>留意事項</p> | <p>○ウィメンズヘルス・助産学専攻の専門科目を 10 単位を超えない範囲で履修することができる。</p> <p>○「特別講義」(1 科目 1 単位) は、2 科目まで履修できる。</p> <p>○履修できない科目については、「修士課程授業科目、単位数および学年配置」を参照のこと。</p> |

(8) 看護学専攻上級実践コース

<小児看護学>

専門看護師教育課程認定コース (38 単位)

修了必要単位数 (44 単位)

| | |
|--------------------------|--|
| <p>必修科目 (36 単位)</p> | <p>○基盤分野の「病態生理学」2 単位 「フィジカルアセスメント」2 単位 「臨床薬理」2 単位 「診断治療学」2 単位 計 8 単位</p> <p>○「小児看護学特論Ⅰ」2 単位 「小児看護学特論Ⅱ」2 単位 「小児看護学特論Ⅲ」2 単位 「小児看護学特論Ⅳ」2 単位 「小児看護学特論Ⅴ」2 単位 「小児看護学演習Ⅰ」2 単位 「小児看護学演習Ⅱ」2 単位 「小児看護学演習Ⅲ」2 単位 「小児看護学演習Ⅴ」2 単位 計 20 単位</p> <p>○「実習Ⅰ」6 単位</p> <p>○「課題研究」2 単位</p> |
| <p>選択科目 (8 単位以上)</p> | <p>○必修科目以外の授業科目の中から 8 単位以上を選択し、そのうちの 8 単位は以下の科目の中から選択しなければならない。 「看護学研究法Ⅰ」「看護理論」「看護倫理」「看護教育学特論Ⅰ」 「看護管理学特論Ⅰ」</p> |
| <p>留意事項</p> | <p>○ウィメンズヘルス・助産学専攻の専門科目を 10 単位を超えない範囲で履修する事ができる。</p> <p>○「特別講義」(1 科目 1 単位) は、2 科目まで履修できる。</p> <p>○履修できない科目については、「修士課程授業科目、単位数および学年配置」を参照のこと。</p> |

(9) 看護学専攻上級実践コース

<精神看護学>

専門看護師教育課程認定コース (38 単位)

修了必要単位数 (42 単位)

| | |
|--------------------------|---|
| <p>必修科目 (34 単位)</p> | <p>○基盤分野の「病態生理学」2 単位 「フィジカルアセスメント」2 単位 「臨床薬理」2 単位 計 6 単位</p> <p>○「精神看護学特論Ⅰ」2 単位 「精神看護学特論Ⅱ」2 単位 「精神看護学特論Ⅲ」2 単位 「精神看護学特論Ⅳ」2 単位 「精神看護学演習Ⅰ」2 単位 「精神看護学演習Ⅱ」2 単位 「精神看護学演習Ⅲ」2 単位 「精神看護学演習Ⅳ」2 単位 計 16 単位</p> <p>○「精神看護学実習Ⅰ」6 単位 「精神看護学実習Ⅱ」2 単位 「精神看護学実習Ⅲ」2 単位 計 10 単位</p> <p>○「課題研究」2 単位</p> |
| <p>選択科目 (8 単位以上)</p> | <p>○必修科目以外の授業科目の中から 8 単位以上を選択し、そのうちの 8 単位は以下の科目の中から選択しなければならない。 「看護学研究法Ⅰ」「看護理論」「看護倫理」「看護教育学特論Ⅰ」 「看護管理学特論Ⅰ」</p> |
| <p>留意事項</p> | <p>○ウィメンズヘルス・助産学専攻の専門科目を 10 単位を超えない範囲で履修する事ができる。</p> <p>○「特別講義」(1 科目 1 単位) は、2 科目まで履修できる。</p> <p>○履修できない科目については、「修士課程授業科目、単位数および学年配置」を参照のこと。</p> |

(10) 看護学専攻上級実践コース

<在宅看護学>

専門看護師教育課程認定コース (38 単位)

修了必要単位数 (40 単位)

| | |
|--------------------------|---|
| <p>必修科目 (32 単位)</p> | <p>○基盤分野の「病態生理学」2 単位 「フィジカルアセスメント」2 単位 「臨床薬理」2 単位 計 6 単位</p> <p>○「在宅看護学特論Ⅰ」2 単位 「在宅看護学特論Ⅱ」2 単位 「在宅看護学特論Ⅲ」2 単位 「在宅看護学特論Ⅳ」2 単位 「在宅看護学特論Ⅴ」2 単位 「在宅看護学演習Ⅰ」2 単位 「在宅看護学演習Ⅱ」2 単位 計 14 単位</p> <p>○「在宅看護学実習Ⅰ」6 単位 「在宅看護学実習Ⅱ」2 単位 「在宅看護学実習Ⅲ」2 単位 計 10 単位</p> <p>○「課題研究」2 単位</p> |
| <p>選択科目 (8 単位以上)</p> | <p>○必修科目以外の授業科目の中から 8 単位以上を選択し、そのうちの 8 単位は以下の科目の中から選択しなければならない。 「看護学研究法Ⅰ」「看護理論」「看護倫理」「看護教育学特論Ⅰ」 「看護管理学特論Ⅰ」</p> |
| <p>留意事項</p> | <p>○ウィメンズヘルス・助産学専攻の専門科目を 10 単位を超えない範囲で履修する事ができる。</p> <p>○「特別講義」(1 科目 1 単位) は、2 科目まで履修できる。</p> <p>○履修できない科目については、「修士課程授業科目、単位数および学年配置」を参照のこと。</p> |

(11) 看護学専攻上級実践コース

<がん看護学・緩和ケア>

専門看護師教育課程認定コース (38 単位)

修了必要単位数 (40 単位)

| | |
|---------------------------|---|
| <p>必修科目 (22 単位)</p> | <p>○基盤分野の「病態生理学」 「フィジカルアセスメント」 「臨床薬理学」 計 6 単位</p> <p>○「がん看護学・緩和ケア特論Ⅰ」2 単位 「がん看護学・緩和ケア特論Ⅱ」2 単位 「がん看護学・緩和ケア特論Ⅲ」2 単位 「がん看護学・緩和ケア演習Ⅰ」2 単位 「がん看護学・緩和ケア演習Ⅱ」2 単位 「がん看護学・緩和ケア演習Ⅲ」2 単位、 「がん看護学・緩和ケア演習Ⅳ」2 単位、 計 14 単位</p> <p>○「がん看護学・緩和ケア実習Ⅰ」2 単位 「がん看護学・緩和ケア実習Ⅱ」4 単位 「がん看護学・緩和ケア実習Ⅲ」4 単位 計 10 単位</p> <p>○「課題研究」 2 単位</p> |
| <p>選択科目 (10 単位以上)</p> | <p>○必修科目以外の授業科目の中から 8 単位以上を選択し、そのうち、 8 単位は以下の科目から選択しなければならない。 「看護学研究法Ⅰ」「看護理論」「看護倫理」「看護教育学特論Ⅰ」 「看護管理学特論Ⅰ」</p> |
| <p>留意事項</p> | <p>○合計 10 単位を超えない範囲でウィメンズヘルス・助産学専攻の専門科目、 または公衆衛生学研究科開講の科目を履修することができる。</p> <p>○「看護学研究法Ⅰ」「看護理論」「看護倫理」「看護教育学特論Ⅰ」 「看護管理学特論Ⅰ」の中から 8 単位を選択しなければならない。</p> <p>○「特別講義」(1 科目 1 単位) は、2 科目まで履修できる。</p> <p>○履修できない科目については、「修士課程授業科目、単位数および学年配置」を参照のこと。</p> |

(12) 看護学専攻上級実践コース

<公衆衛生看護学> 保健師国家試験受験資格取得の場合

修了必要単位数 (60 単位)

| | |
|--|---|
| <p>必修科目 (44 単位)</p> <p>保健師国家試験受験資格取得のために指定された科目 28 単位を含む</p> | <p>○基盤分野の「応用統計学」2 単位</p> <p>○「公衆衛生看護学特論Ⅰ」2 単位 「公衆衛生看護学特論Ⅱ」2 単位 「公衆衛生看護学特論Ⅲ」2 単位 「公衆衛生看護学特論Ⅳ」2 単位 「公衆衛生看護学特論Ⅴ」2 単位 「公衆衛生看護学演習Ⅰ」2 単位 「公衆衛生看護学演習Ⅱ」2 単位 「公衆衛生看護学演習Ⅲ」2 単位 「公衆衛生看護学演習Ⅳ」3 単位 「公衆衛生看護学演習Ⅴ」2 単位 「公共哲学・保健医療福祉システム論特論」2 単位 「公共哲学・保健医療福祉システム論演習」1 単位 「公衆衛生看護疫学」2 単位 「産業保健・学校保健特論」2 単位 「産業保健・学校保健演習」2 単位 「コミュニティ・アセスメント特論」2 単位 「コミュニティ・アセスメント演習」2 単位 計 36 単位</p> <p>○「実習」6 単位 「課題研究」2 単位</p> |
| <p>選択科目 (16 単位以上)</p> | <p>○必修科目以外の授業科目の中から 16 単位以上を選択し、そのうち 6 単位を以下の 3 科目を選択しなければならない。 「看護学研究法Ⅰ」「看護理論」「看護倫理」 また、2 単位は以下の 2 科目のうちどちらかを選択しなければならない。 「看護教育学特論Ⅰ」「看護管理学特論Ⅰ」</p> |
| <p>留意事項</p> | <p>○ウィメンズヘルス・助産学専攻の専門科目を 10 単位を超えない範囲で履修する事ができる。</p> <p>○「特別講義」(1 科目 1 単位) は、2 科目まで履修できる。</p> <p>○履修できない科目については、「修士課程授業科目、単位数および学年配置」を参照のこと。</p> |

(13) 看護学専攻上級実践コース

<周麻酔期看護学>

修了必要単位数 (44 単位)

| | |
|--------------------------|---|
| <p>必修科目 (36 単位)</p> | <p>○基盤分野の「病態生理学」2 単位 「フィジカルアセスメント」2 単位 「臨床薬理学」2 単位 「診断治療学」2 単位 計 8 単位</p> <p>○「周麻酔期看護学特論Ⅰ」2 単位 「周麻酔期看護学特論Ⅱ」2 単位 「周麻酔期看護学特論Ⅲ」2 単位 「周麻酔期看護学特論Ⅳ」2 単位 「周麻酔期看護学特論Ⅴ」2 単位 「周麻酔期看護学演習Ⅰ」2 単位 「周麻酔期看護学演習Ⅱ」2 単位 「周麻酔期看護学演習Ⅲ」2 単位 「周麻酔期看護学演習Ⅳ」2 単位 「周麻酔期看護学演習Ⅴ」2 単位 計 20 単位</p> <p>○「実習」6 単位 「課題研究」2 単位</p> |
| <p>選択科目 (8 単位以上)</p> | <p>○必修科目以外の授業科目の中から 8 単位以上 を選択し、そのうち 8 単位を以下の科目から選択しなければならない。 「看護学研究法Ⅰ」「看護理論」「看護倫理」「看護教育学特論Ⅰ」 「看護管理学特論Ⅰ」</p> |
| <p>留意事項</p> | <p>○ウィメンズヘルス・助産学専攻の専門科目を 10 単位を超えない範囲で履修する事ができる。 ○「特別講義」(1 科目 1 単位) は、2 科目まで履修できる。 ○履修できない科目については、「修士課程授業科目、単位数および学年配置」を参照のこと。</p> |

(14) ウィメンズヘルス・助産学専攻修士論文コース

<ウィメンズ> <助産学>

修了必要単位数 (32 単位)

| | |
|------------------|--|
| 必修科目 (28 単位) | ○基盤分野「看護学研究法Ⅰ」2 単位 「看護学研究法Ⅱ」2 単位 「看護理論」2 単位 「応用統計学」2 単位、 計 8 単位 ○専攻する分野の「特論Ⅰ」2 単位 「特論Ⅱ」2 単位 「演習Ⅰ」2 単位 「演習Ⅱ」2 単位 計 8 単位 ○専門分野から専攻する分野以外の 1 分野を選択 「特論Ⅰ」2 単位 「特論Ⅱ」2 単位、「特論Ⅲ」2 単位のうちの当該分野で 指定する 2 単位 計 4 単位 ○「特別看護研究」 8 単位 |
| 選択科目 (4 単位以上) | ○必修科目以外の授業科目の中から 4 単位以上 |
| 留意事項 | ○看護学専攻の専門科目を 10 単位を超えない範囲で履修することができる。 ○「特別講義」(1 科目 1 単位) は、2 科目まで履修できる。 ○専攻する分野以外の演習、演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを選択することは可能であるが 下記の条件によるものとする。 ・原則として選択する分野の特論Ⅰ・Ⅱを履修していること。 ・選択する科目の教員および専攻する分野の指導教員が了承すること。 ・専攻する分野の学習の妨げにならないこと。 ○履修できない科目については、「修士課程授業科目、単位数および学年配置」を参照のこと。 |

(15) ウィメンズヘルス・助産学専攻 上級実践コース

<ウィメンズヘルス>

専門看護師教育課程認定コース (38 単位)

修了必要単位数 (42 単位)

| | |
|--------------------------|---|
| <p>必修科目 (34 単位)</p> | <p>○基盤分野の「病態生理学」2 単位 「フィジカルアセスメント」2 単位 「臨床薬理学」2 単位 「診断治療学」2 単位 計 8 単位</p> <p>○「ウィメンズヘルス上級実践特論Ⅰ」2 単位 「ウィメンズヘルス上級実践特論Ⅱ」2 単位 「ウィメンズヘルス上級実践特論Ⅲ」2 単位 「ウィメンズヘルス上級実践演習Ⅰ」2 単位 「ウィメンズヘルス上級実践演習Ⅱ」2 単位 「ウィメンズヘルス上級実践演習Ⅲ」2 単位 「ウィメンズヘルス上級実践演習Ⅳ」2 単位 「ウィメンズヘルス上級実践実習Ⅰ」3 単位 「ウィメンズヘルス上級実践実習Ⅱ」3 単位 「ウィメンズヘルス上級実践実習Ⅲ」4 単位 計 24 単位</p> <p>○「課題研究」2 単位</p> |
| <p>選択科目 (8 単位以上)</p> | <p>○必修科目以外の授業科目の中から 8 単位以上を選択し、そのうち 8 単位を以下の科目から選択しなければならない。 「看護学研究法Ⅰ」「看護理論」「看護倫理」「看護教育学特論Ⅰ」 「看護管理学特論Ⅰ」</p> |
| <p>留意事項</p> | <p>○看護学専攻の専門科目を 10 単位を超えない範囲で履修する事ができる。 ○「特別講義」(1 科目 1 単位) は、2 科目まで履修できる。 ○履修できない科目については、「修士課程授業科目、単位数および学年配置」を参照のこと。</p> |

(16) ウィメンズヘルス・助産学専攻 上級実践コース

<助産学> 一般入学

助産師国家試験受験資格取得コース

修了必要単位数 (60 単位)

| | |
|--|---|
| <p>必修科目 (44 単位)</p> <p>助産師国家試験受験資格取得のために指定された科目 28 単位を含む</p> | <p>○基盤分野の「病態生理学」2 単位 「フィジカルアセスメント」2 単位 計 4 単位を履修する。</p> <p>○「助産学上級実践特論Ⅰ」2 単位 「助産学上級実践特論Ⅱ」2 単位 「助産学上級実践特論Ⅲ」2 単位 「助産学上級実践特論Ⅳ」2 単位 「助産学上級実践特論Ⅴ」2 単位 「助産学上級実践特論Ⅵ」2 単位 「助産学上級実践演習Ⅰ」2 単位 「助産学上級実践演習Ⅱ」2 単位 「助産学上級実践演習Ⅲ」2 単位 「助産学上級実践演習Ⅳ」2 単位 「助産学上級実践演習Ⅴ」2 単位 「助産学上級実践演習Ⅵ」2 単位 「助産学実習」 6 単位 「助産学課題研究」 2 単位 計 32 単位</p> <p>○「コミュニティ論特論」2 単位 「コミュニティ論演習」2 単位 「サービスマネジメント論特論」2 単位 「サービスマネジメント論演習」2 単位 計 8 単位</p> |
| <p>選択科目 (16 単位以上)</p> | <p>○必修科目以外の授業科目の中から 16 単位以上を選択し、そのうち 6 単位は以下の 3 科目を選択しなければならない。 「看護学研究法Ⅰ」「看護理論」「看護倫理」 また、2 単位は以下の 2 科目のうちどちらかを選択しなければならない。 「看護教育学特論Ⅰ」「看護管理学特論Ⅰ」</p> |
| <p>留意事項</p> | <p>○受胎調節実地指導員の申請資格の取得のためには、「ウィメンズヘルス特論Ⅱ」を履修しなければならない。(2016 年度)</p> <p>○看護学専攻の専門科目を 10 単位を超えない範囲で履修することができる。</p> <p>○「特別講義」(1 科目 1 単位) は、2 科目まで履修できる。</p> <p>○履修できない科目については、「修士課程授業科目、単位数および学年配置」を参照のこと。</p> |

(17) ウィメンズヘルス・助産学専攻 上級実践コース

<助産学> 長期在学

JICA コース〔在籍期間 3 年間〕

修了必要単位数 (32 単位)

| | |
|-----------------|---|
| 必修科目 (26 単位) | ○基盤分野の「看護学研究法Ⅰ」2 単位 「看護理論」2 単位 「応用統計学」2 単位 計 6 単位 ○専門分野の「助産学上級実践特論Ⅰ」2 単位 「助産学上級実践特論Ⅱ」2 単位 「助産学上級実践特論Ⅲ」(JICA) 2 単位 「助産学上級実践演習Ⅰ」(JICA) 2 単位 「助産学上級実践演習Ⅱ」(JICA) 2 単位 「助産学上級実践演習Ⅲ」(JICA) 2 単位 「助産学実習」 (JICA) 6 単位 「助産学課題研究」 2 単位 計 20 単位 |
| 選択科目 | ○必修科目以外の授業科目の中から希望の科目を選択し、そのうち 6 単位 を以下の 9 科目から選択しなければならない。 「看護管理学特論Ⅰ」「看護教育学特論Ⅰ」「看護統計学特論Ⅰ」 「国際協働論特論」「国際協働論演習」「看護倫理」「コミュニティ論特論」 「国際看護学特論Ⅰ」「国際看護学特論Ⅱ」 |
| 留意事項 | ○看護学専攻の専門科目を 10 単位を超えない範囲で履修することができる。 ○「特別講義」(1 科目 1 単位) は、2 科目まで履修できる。 ○履修できない科目については、「修士課程授業科目、単位数および学年配置」を参照のこと。 ○通常 1 年目 10 月から JICA 研修、1 年目 1 月から 3 年目 9 月まで JOCV タンザニア派遣、3 年目 10 月に帰国し課題研究を履修する。 |

長期在学コース入学者の履修についての留意事項

- ・ 3 年間での履修計画をたてること。
 - ・ 原則として「看護学研究法Ⅰ」「看護理論」「応用統計学」、専攻する分野の特論Ⅰ、特論Ⅱは 1 年次で履修する。
- (※ただし JICA コースの場合は特論Ⅱを 3 年次後期に履修する。)